

最優秀に柴田隼飛さん

大阪電通大建築学科
卒業制作展講評会

大阪電気通信大学工学部
建築学科は2日、大阪市中央公会堂（大阪市北区）で
合同卒業制作展2022
「yohaku ni:」
講評会を行い、柴田隼飛さん
の卒業論文「大正時代から
現代までの木材価格変動
と木材需要に関する研究」
を最優秀賞に選んだ。講評



入賞者が記念撮影（大阪
電気通信大学提供）

会には笠原一人京都工芸繊維大学助教や、日本設計の伊藤仁志氏らも招き卒業設計と卒業研究を審査した。審査員はプレゼンテーションをした学生に、設計意図や研究内容などについて確認し、投票で入賞者4人を決めた。

審査員は「設計作品はテーマが鮮やかなものが多く、論文も見応えがあった」などと総評した。

建築学科1期生卒業生で現在、大学院1年生の松本康平さんが同窓会初代会長として入賞者に賞状と副賞を手渡した。

最優秀賞以外の受賞者と設計作品は次の通り（敬称略）。

▽優秀賞Ⅱ宮部彰乃「音楽と建築の融合 Music structure」

▽入賞Ⅱ土居拓馬「時代の変化束ねる 漁師町の観光地としての復興」、鈴木凌太「い・か・す・な・ら 奈良の新たなイメージは新拠点の創出」。